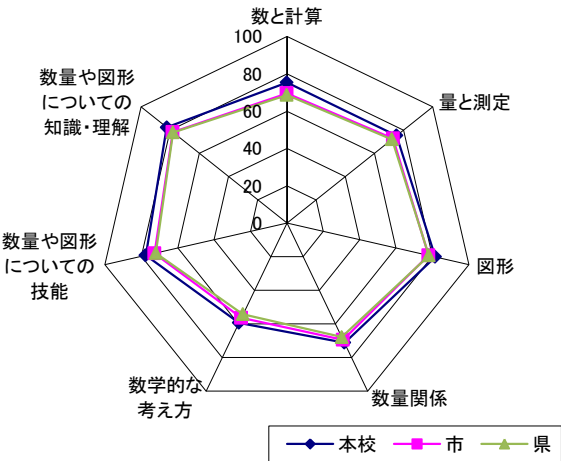


宇都宮市立石井小学校第4学年【算数】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	75.4	69.6	68.7
	量と測定	75.2	72.8	72.0
	図形	81.5	77.8	78.0
	数量関係	71.2	69.4	67.8
観点	数学的な考え方	59.3	56.3	54.2
	数量や図形についての技能	77.6	72.7	72.0
	数量や図形についての知識・理解	82.3	78.2	78.1



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○繰り上がりのある3位数のたし算や真分数と真分数のたし算の問題がよくできている。 ○小数のしくみをよく理解している。 ●()を用いて1つの式に表した3つの数の乗法について、場面と式を結び付けて考える力が十分でない。	・式において()を使う意味を再確認し、文章から3つの数の乗法を使う場面を絵や図や言葉に表すなど多様な考えを引出して式に結び付け、意味の理解が深まるようにする。
量と測定	○時間の分を秒で表すことがよくできている。 ○長さのkmとmの単位の関係を理解し、kmをmの長さに換算できる。 ●文章問題を読んで、目的地までの2種類の乗り物のかかる時間を求め、それを比較する力が十分でない。	・文章問題からどのように時間を求めていか復習して練習問題を解くとともに、日常生活の場面の問題作りなどを取り入れ活用する力を高めていく。
図形	○円の直径や二等辺三角形の定義をよく理解している。 ○正しく正三角形の作図をすることができる。 ●球の半径と直径の関係が十分理解できていない。	・球を半分に分けた表面が円になることを再確認し、半径や直径を図示することで理解を深めていく。
数量関係	○棒グラフを読み取り、提示された条件に該当する項目を示したり、数の違いを計算したりすることがよくできている。 ○文章問題を解くために除法の式を立式し、その式から正しい答えを求めることができる。 ●口を使った乗法の式に合った文章問題を選ぶ力が十分でない。	・わからない数に口を使うことを確認し、文章の言葉に気を付けて立式する練習問題を解くようにする。